

令和7年度上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

会議	部会名	第2回こども若者部会 第1回支援ネットワーク連絡会 合同開催	参加者数	57人	会場	伊那市防災 コミュニティセンター 多目的ホール
	日時	令和7年9月2日(火) 13:00~15:00				
主 テ マ	1 情報提供 2 意見交換 3 その他連絡					
	<p>1 情報提供</p> <p>(1) こどもの居場所支援から広がるネットワーク  <b>【箕輪町社会福祉協議会 地域ふれあいグループ 地域福祉コーディネーター】</b>                  地域とともにあらゆる生活課題への対応を目指すため、15地区に地域福祉コーディネーターを配置し、障がいの有無関係なく総合相談を行っている。数年前より子どもの困窮や不登校児と繋がりが増えたことを受け、こどもの居場所支援事業を展開。地域と近い立場である強みとネットワークを生かし、単独では困難なケースでも団体同士の連携支援を行っている。年々、新規の関係者との繋がりが寄付も増え、地域もこどもへの関心が高いことが分かった。今後も居場所の新規展開と相談技術や対応力、専門的な技術を持った支援者との連携強化の向上を目指していく。</p> <p>(2) ひきこもりを持つ家族に対する伴走支援  <b>【まいさば上伊那 相談・居住就労支援員兼伴走コーディネーター】</b>                  平成27年4月から施行された生活困窮者自立支援法に基づき、困難を抱える困窮の方に対し、就労準備支援、家計相談支援等を行う。社会的に孤立している方も支援の対象とし、ひきこもりの方が社会的孤立を解消することを目的に、相談者の状況に応じた支援プランを立て、信州カウンセリングセンターや関係機関と連携しながら自立に向けた支援を行っている。  <b>【夢倶楽部しらかば信州カウンセリングセンター 所長】</b>                  対象者の元へ訪問し、状況理解と関係作りを育み、自己理解を深め、適性と社会をすり合わせていく丁寧なカウンセリングを行う。具体的な解決法の提案と寄り添い続けることを大切に「伴走型支援」を長年続けている。</p> <p>(3) 放課後等デイサービスにおける不登校支援(個別サポート加算Ⅲ)事例発表  <b>【多機能型支援事業所 児童発達支援管理責任者】</b>                  個別サポート加算Ⅲは不登校の状態にある障害児に対し、学校や家庭との連携を密に行いながら支援を行った場合に評価される。不登校の状態のみをもって障害児通所給付費の対象にはならず、放課後等デイサービスなら信頼関係の下で通うことができる児童に対して、事業所が学校、家庭等と連携して支援を行う場合に算定される。                  具体的な支援内容を2事例発表。</p> <p>(4) その他連絡                  ・きっか・リン(長野県フリースクール等情報ポータルサイト)の紹介とイベント案内</p>					
ま と め	こども・若者の居場所支援や不登校・ひきこもり支援の具体的な取り組み内容を共有できた。					
次 回	今年度の支援ネットワーク連絡会の開催は終了					